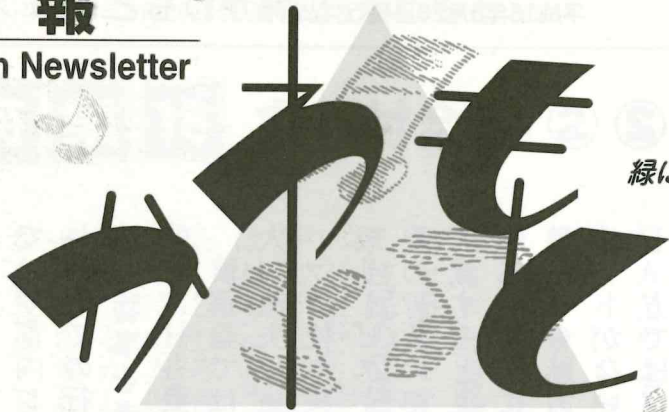




緑にこだます音楽の里

2001 8 August No.364
平成13年
<http://www.web-sanin.co.jp/local/kawamoto>

合併について意見を交わす住民たち



川本町役場の若手職員を中心に組織した市町村合併研究会は7月7日、悠邑ふるさと会館で初の住民意見交換会を開きました。生活圏の拡大や少子・高齢化の進展、更に財政事情が深刻化する中、どのような合併論議を展開し、まちづくりの追い風にしていけるのか。21世紀の行政課題「市町村合併」を特集します。

特集 16

市町村合併②
初の住民意見交換
論議深める

意見交換会には、二十代から四十代の子育て世代を中心に、会社員や主婦、自営業など計三十人が参加しました。

はじめに、片山総務課長が「皆さんから、きたんのないご意見をいただきたい」とあいさつ。続いて木村総務課長補佐が「合併論議は自分たちのまの将来を考えること。積極的な参加をいただき論議を深めていきたい」と意見交換会の目的を述べ、資料をもとに説明しました。

資料は▽島根県広域行政推進検討委員会報告書（現在の五十市町村を十三自治体に再編した基本案）▽平成十一年度島根県市町村財政概況▽川本町まちづくりアンケート結果など四

点。木村補佐は、合併にむけて加速する国や県の現状や、町財政について説明。また「合併は自主的な判断による住民の選択。各自治体は、その効果や懸念といった情報提供を積極的に行っていく必要がある」としました。

引き続き十人ずつのグループに分かれて討議。参加者から、合併が住民生活に何をもたらすのか、期待や不安などについて多様な意見が寄せられました。

合併推進を望む声では、▽合併は時代の流れ▽合併により競争意識が

特集 16 市町村合併 ②

一方では、▽議論するには情報がほしい▽行政サービスが高い水準に統一してほしい▽情報を得るためにも住民参加の意見交換会を続けてほしい▽各首長が率先し、合併問題に取り組む姿勢が大切▽地域の組織を強化し、行政サービスの不足を補うことが必要▽合併の是非よりも今後の行政のあり方を検討する必要がある—といった要望や提言もありました。

生まれ、まちが活性化するのは▽郡内レベルの合併であれば車でのご来は可能▽広域で物事を考えた方が効率的。人材も豊富—など。

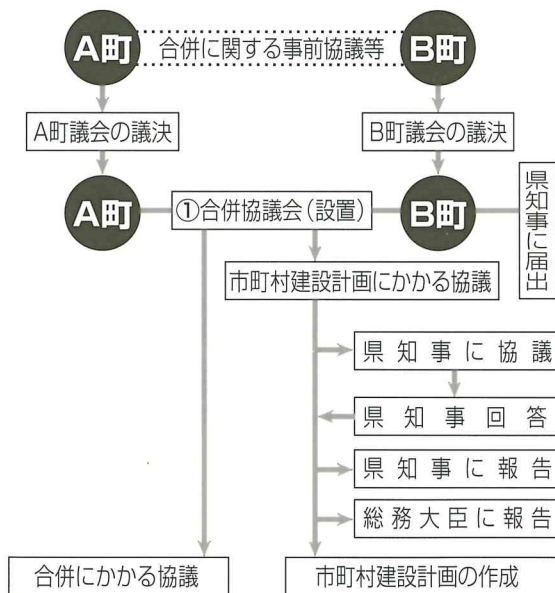
慎重論では、▽合併しても人口流失に歯止めはかからない▽学校の統廃合が心配▽行政サービスが低下する▽合併後の行政の拠点地は▽職員を削減すると災害など緊急時の対応は迅速にできるのか▽合併しても魅力のない町ならメリットがない—など。

これらの声に対して研究会は「皆さんと一緒に合併問題を考えるためにも、それを判断するための十分な情報提供や意見交換の場を積極的に持ちたい」とし、合併は住民の自主的な判断とする「平成の大合併」の理念を強調しました。

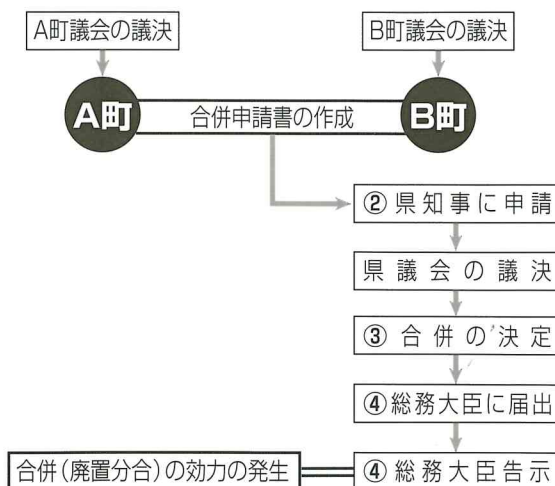
研究会は今後、自治会や女性団体などとも意見交換を行い、幅広い層の声を年内までに集約していきます。

市町村合併の手続き

●合併協議会の設置及び協議



●合併の申請及び処分



市町村合併はおおむね次のような手続きで行われます。

①合併協議会の設置…議会の議決

合併しようとする市町村は、それぞれの市町村の議会の議決を経て合併協議会を置きます。

合併協議会の委員は、規約で定められますが、一般的にはそれぞれの関係市町村の議員、市町村長、職員、学識経験者などで構成される。

合併協議会は、市町村建設計画(新しい町の基本計画)の作成や新しい町名、庁舎の位置、議員の任期及び定数、条例・規則、税、使用料・手数料、各制度の調整等、合併に関するあらゆる協議を行います。

②合併の申請

合併協議会の協議の合意によって合併協定書が締結されます。議会に合併関係議案が提出され議決を経て県知事に合併の申請を行います。

③県知事による決定

関係市町村による合併申請に基づき、県議会の議決によって合併が決定します。

④総務大臣への届出と告示

県知事は、合併を定めたことについて総務大臣に届け出ます。総務大臣の告示により合併の効力が生じることとなります。

特集 16 市町村合併 ②

Q & A

今年四月、川本町役場の若手職員を中心に発足した「市町村合併研究会」。現在の取り組み状況などについて同会スタッフに聞きました。

—現在の取り組み状況は。

「現時点では、合併論議を活性化させることに重点をおいた取り組みをしています」

「七月に若い世代との意見交換を行いました。婦人会や老人クラブの会合などにも出向き情報提供をさせていただきました。いろんな機会を通じてもっと論議を深める必要を感じています」

—住民の反響は。

「子育て世代の方は合併に対して暗いイメージはあまりもっておられませんが、むしろ合併による将来への期待の方が強いと感じています。しかし現実には様々なルールが変わるため、不便さが生じることも心配されます。合併による地域格差や行

政サービスの低下、役場が遠くなるといった一般的に言われる問題も含め、十分な対応が必要です」

「合併を理解するためには、資料配付といった情報提供だけでは不十分です。時間がか

「合併論議はまちづくり論議」

市町村合併研究会



判断には十年、あるいは五十年先を見据えた極めて高度な決断が必要になります。つまり、私たちの暮らしにとって将来の発展のステップになり得るか、そうでないかの判断であると思います。展望のない財政的な数合わせの合併になれば、私たちのまちや地域の将来はどうなるのでしょうか」

「更に、これまでの住民と行政の関係を見直し、新たな関係をどのようになくかという視点を持つことです。つまり、行政への住民の参画です。厳しい財政と

かるにしても、率直な意見交換を重ねていくことが何よりも必要と考えています」

—合併問題を考えるうえで大切なことは。

「合併論議はとかく損得論議が先行しがちですが、その

多様な住民ニーズに、どう対応していくのか。行政と住民の知恵と努力が問われることになります」

「これから他町村の動きも活発になると思います。合併論議はまさに、まちづくり論

議そのものと思っています」

—今後の予定は。

「十月頃までに、自治会や各団体、サークルにも呼びかけ、合併問題を一緒に考えていきたいと思っています。意見は年内の早い時期にまとめて、広報などでお知らせします」

「合併特例法の期限（平成十七年三月三十一日）を意識した判断となれば、遅くとも今年度中には、町として合併の是非についての考え方を示す必要があります。それにより、合併協議会設立に向けた議論が始まるものと考えています」

シンポジウム・講演会のご案内 第三回市町村合併を考える

日時 九月二十二日（土）午後一時
場所 浜田市 石中央文化ホール
内容 基調講演（総務省）、パネルディスカッション
県民大学公開講座
「そこが知りたい町村合併」

（島根県西部生涯学習センター主催）
日時 九月二十九日（土）午後七時
場所 悠色ふるさと会館
内容 講演（兵庫県篠山市 合併管理室長 大対信文）

※問合せ 役場総務課

☎0855・72・0631

水の事故から身を守る

スイミングスクール着衣水泳



着衣水泳に挑むスイミングスクールの子どもたち

海や川に出かける機会が増えるこの時期、かわもと音戯館の室内温水プールで、衣服を着たままの水泳訓練が開かれました。

訓練に挑んだのは、スイミングスクール川本校に通う幼児から小学生。はじめに大畠文香コーチから入水したときの対処として▽あわてず、ダルマ浮き（手足を丸めて背中を水面に向ける）の状態をつくる▽浮いたら、顔を出して岸を確認しながら泳ぐか、仰向けになって足を蹴りながら泳ぐ―などとアドバイスを受けました。私服を身につけた子どもたちは、一人ずつプールへ入り体験。

大畠コーチは「水の事故から身を守るには、正しい対処法を体験することが一番。あわてず行動してほしい」と着衣水泳の大切さを話しました。



昭和47年水害語り継ぐ

7/12



県全域に被害をもたらした昭和47年7月の豪雨災害を後世に伝えようと、江の川文化圏会議が「語り継ぐ会」を開催。参加した川本小児童は、語り部とともに町内にでて、水没の様子を記録した写真と現在の町を見比べたり、当時の被害状況に耳を傾けました。

盆栽始めませんか！



今年2月に盆栽クラブ＝愛妻会（代表・落合定信さん、会員16人）が発足しました。現在、悠湯プラザに登録し毎月2回、サツキ、ツツジの剪定や植え替えを行っています。盆栽に興味のある方は、ぜひご参加ください。

問合せ 悠湯プラザ ☎0855-72-3300

生まれ変わった

三島地区

三島地区整備事業が完了

治水対策を目的に事業が進められていた三島地区の堤防、県道、宅地の整備が、二十六年間の歳月を経て完了しました。同地区は、昭和四十七年七月の豪雨により壊滅的な被害を受け、堤防、県道及び治水モデル事業として着手された宅地の嵩上げ再配置事業が進められてきました。



式典で挨拶をする中国地方整備局 増元河川部長

はじめ国や県、地元関係者など六十三人が出席し、事業の完成を祝いました。また、地元が建立した県知事の執筆による完成記念碑の除幕式もありました。事業効果を認識して、今後も、継続工

議会議員を

式には、県

かれた竣工

の主催によ

り地元で開

置事業が進

められてき

ました。

六月十五

日、国土交

通省、島根

県、川本町

の主催によ

り地元で開

置事業が進

められてき



川本高校開放
陶芸を学ぶ

7/7

川本高校を地域に開放する連続講座「やさしい陶芸教室」が開かれました。町内をはじめ、郡内から16人が参加。町内因原で陶芸に取り組む堂面とき子さんや、同校で美術を教える周藤豊治教諭の指導のもと、手動のろくろを使い、丸皿づくり挑戦しました。

盛況
フリーマーケット
7/7



子育てサークル「おじママキッズ」が音戯館でフリーマーケットを開き、多くの来場者でにぎわいました。会場には子供服や日用品など並べられ、親子連れが熱心に品定め。また指輪やペンダントの製作コーナーや、ゲームコーナーもあり、親子が楽しいひとときを過ごしました。

息合わせて合同けいこ

住民参加ミュージカル



息の合ったステージを目指し、けいこに励む出演者

悠邑ふるさと会館で開かれるミュージカル「あいと地球と競売人」川本公演まで二カ月を切った七月二十六日、子役と大人の合同けいこが始まりました。同ミュージカルは、地球を汚し競売にかけようとする妖怪たちに対し、主人公あいちゃんを中心に子どもたちが力を合わせ、地球を守ろうとする物語。オーディションを経た出演者は、六月から毎週土、日曜日を中心に練習を重ねてきました。この日のけいこは、汚れた地球を求める妖怪役の人々と、企てを阻止し環境を訴える子どもたちを描く場面。真剣な表情で取り組む様子に、総合演出の山崎篤典さんは「子どもの純粋さと大人の人生経験の豊かさが演技に表れ、双方が良い影響をうけている。素晴らしい舞台になるだろう」と声を弾ませていました。

中山間地域集落維持・活性化緊急対策事業

シリーズ⑦
集落の活性化を
目指して

この事業は、高齢化率の高い集落が地域活性化に向けた活動に取り組む際、県が最高百万円を交付するものです。これまで承認を受けた集落を紹介します。

畑野 畑野こんにゃくの栽培、カラオケ教室の開催

笹畑 耕地の維持（猪捕獲檻の設置）、イベント用仮設舞台等の購入

矢谷 ジャンボ椎茸の栽培、椎茸祭り、カラオケ教室の開催

〈役場企画財政課〉



関係者による完成記念碑の除幕

事中的多田や新規計画中の尾原、重点要望中の谷地区など、治水対策は急務であり、早期の事業化と整備が必要です。

自治会	社費額(円)	自治会	社費額(円)
木路原	35,700	因 原	155,200
日の出	63,000	多 田	8,000
上新町	37,700	久座仁	64,400
中新町	36,400	谷 戸	22,300
下新町	43,000	笹 畑	18,000
元 町	36,400	三 島	81,900
本 町	43,400	西	44,000
天神町	14,700	八 幡	27,500
谷	87,600	三 原	58,400
市井原	16,400	田 窪	49,000
長 原	12,400	南佐木	64,400
矢 谷	13,300	親 和	32,200
芋 畑	7,000	湯 谷	36,600
双 葉	12,600	三 俣	24,500
中 倉	15,400	三 大 字	50,100
日 向	11,800	計	1,223,300

音楽の町定住奨励金

川本町へ生活の本拠をおき、将来とも定住する40歳未満の転入者または新規学卒者で、転入日または卒業後1年以内に官公庁以外の事業所に就労した方へ奨励金を支給します。

奨励金交付額

新規学卒者 ……………150,000円

40歳未満転入者

(単身者) ……………150,000円

(家族同伴者) ……300,000円

問合せ 役場企画財政課

☎0855-72-0634

20歳がスタート国民年金

国民年金は、日本に住む20歳以上60歳未満のすべての人に加入が義務付けられています。年金を受ける権利と年金額は、保険料を納めた実績などに応じて決まります。

学生、フリーター、自営業、農林漁業などの方(第1号被保険者)

- 保険料は自分で納める
- 届け出は住民票のある市町村役場へ自分で行う

会社員や公務員で厚生年金や共済組合に加入している方(第2号被保険者)

- 保険料は給料から差し引かれる
 - 届け出は会社や共済組合が行う
- 第2号被保険者に扶養されている20歳以上60歳未満の配偶者

- 保険料は厚生年金や共済組合がまとめて支払う
- 届け出は住民票のある市町村役場へ自分で行う

問合せ 役場住民課

☎0855-72-0632

事業所・企業統計調査

10月1日、事業所・企業統計が全国一斉に行われます。農林漁家を除く全ての事業所が対象です。9月下旬から調査員が各事業所に伺いますので、ご協力をお願いします。

問合せ 役場総務課

☎0855-72-0631

スポーツ結果

第35回島根県中学校総合体育大会

川本中学校

○陸上競技

全学年男子4百円：5位

吉田尚永さん

女子低学年4百円リレー：5位

渡辺由菜さん、吉田知加さん、

安田理加さん、大久保教さん

○剣道

女子個人戦：3回戦敗退

天皇賜杯第56回全日本軟式野球大会

川本町体育協会野球部が県予選を勝ち抜き、県代表として全国大会(9/7～・新潟市)へ出場。



9月の保健行事

役場健康福祉課

5日(水)●リハビリ教室

10:00～15:00 すこやかセンター

6日(木)●断酒会

19:00～21:00 すこやかセンター

11日(火)●乳児相談

※ブラッシング指導があります

13:00～14:00 すこやかセンター

●成人健康相談

14:30～15:00 すこやかセンター

12日(水)●基本健診(循環器)

8:30～14:00 湯谷悠湯プラザ

13日(木)●基本健診(循環器)

8:30～14:00

尾原高齢者センター

14日(金)●基本健診(循環器)

8:30～14:00 川本公園管理棟

18日(火)●胃がん検診

7:30～10:00

因原勤労者センター

19日(水)●リハビリ教室

10:00～15:00 すこやかセンター

20日(木)●三原地区健康相談

9:30～10:30 朝日ヶ丘会館

10:45～11:30 親和集会所

21日(金)●基本健診(循環器)

8:30～10:00 三 大 字 集 会 所

●子宮がん、乳がん、骨粗しょう症検診

10:00～10:30 三 大 字 集 会 所

11:00～11:30 久座仁集会所

13:15～14:30 すこやかセンター

27日(木)●乳幼児健診 すこやかセンター

●献血

9:30～

インフォメーションセンター

10:40～ 川本警察署

13:00～ 川本町役場

14:30～ 川本合同庁舎

28日(金)●因原地区健康相談(結果報告)

9:30～10:30

因原勤労者センター



情 報 交 差 点

身近な話題をお寄せください!

川本町役場総務課

〒696-8501

島根県邑智郡川本町大字川本545-1

☎ 0855-72-0631

Fax 0855-72-0635

Hp <http://www.web-sanin.co.jp/local/kawamoto>

E-mail kawamoto@web-sanin.co.jp

町の人口

男 2,301人 (2,336)

女 2,442人 (2,470)

計 4,743人 (4,806)

うち65歳以上 1,655人 (1,651)

うち15歳未満 529人 (553)

世帯数 2,025戸 (2,041)

平成13年8月1日現在の住民登録による
()は前年同月



相 談

一斉相談会

弁護士による相談会を開きます。

日 時 9月14日(金)

10:00~16:00

場 所 すこやかセンター 2階

相談時間 40分以内

相談料金 原則無料 (3回目の継続相談から有料)

予約方法 電話でお申込みください。

石見法律相談センター

☎0855-22-4514



子育て

げんちゃんと遊ぼう

人形のげんちゃん(腹話術)と遊ぼう!

因原保育所

9月11日(火) 9:30~11:30

川本北保育所

9月18日(火) 9:30~11:30

問合せ 地域子育て支援センター
(川本保育所内)

☎0855-72-0170



川本保育所夏祭り



募 集

川本福祉社会職員

職種 保育士:若干名
介護員、寮母(父):若干名
調理師:若干名

試験日 一次試験:9月30日(日)

採用時期 平成14年4月1日採用

応募締切 9月3日(月)

問合せ 川本福祉会

☎0855-72-3517



農業委員

農業委員さんが改選になりました

任期:平成13年3月23日~平成16年3月22日

役職名	氏 名	住 所	担 当 地 区
会 長	上 田 茂 人	川本2124	芋畑、矢谷、長原、市井原
	上 田 武 範	川内159-1	三大字、多田、久座仁
農地部長	大 畑 晶 義	南佐木112-1	南佐木
研修部長	山 根 昭 久	三俣135	三俣、湯谷、谷戸
	左田野 裕	因原279	因原、日向
農振部長	坂 山 儀 行	川下1777	八幡、西、三島、笹畑
	湯 浅 奈賀美	因原146-11	
会長代理	竹 下 誠	北佐木176	親和
	竹 下 禎 彦	三原149-6	三原
	遠 藤 幸 秀	川本1958-2	
	浅 原 和 夫	田窪430-1	田窪
	中 場 徳 郎	川本1069-1	木路原、弓市、双葉、谷、中倉

農地の売買、地目の変更、埋め立てをする時は農業委員会の許可が必要です。また、農地の貸し借りに関することなど、お気軽に担当地区の農業委員さんにご相談ください。

問合せ 農業委員会事務局(役場農林振興課内) ☎0855-72-0636

自衛官

看護学生:3年で看護資格取得後、二曹になる

応募資格:高卒(見込)24歳未満の方(今年から男子も可)

防衛大学校学生:4年で卒業し自衛隊の幹部になる

応募資格:高卒(見込)21歳未満の方

防衛医科大学校学生:6年で卒業し医師免許取得後、医官(幹部)になる

応募資格:高卒(見込)21歳未満の方

応募締切:10月12日(金)

問合せ 自衛隊大田募集事務所

☎0854-82-1437



暮らし

日本赤十字社費

平成13年度日本赤十字社費募集にご協力をいただきありがとうございました。赤十字は皆様から拠出していただいた社費により活動しています。

川本町社会福祉協議会 ↗

インタビュー

合併考

がっぺい
こう
(2)

「前回に引き続きうかがいます。合併推進に向けて、国から市町村へ様々な財政支援があり、住民の関心も高まっています。」

「国では、合併に向けた検討や合併後の財政支援として、補助金や特別交付税を新たに設けています」

「注目されるのは、平成十一年に合併特例法を改正し、普通交付税の算定替えや基金積み立てに必要な経費の財源措置、まちづくりのための建設事業費を拡充しました。しかし、これは平成十七年三月末までに合併をする市町村への特例です。自治体が、合併の是非を急ぐ理由の一つといえるでしょう」

「合併に伴う、財政支援のねらいは何か。」

「これらの財政措置はあくまで道路や公共施設の整備な

合併に伴う財政支援の意味

ど、合併を進めていくための条件づくりや、合併後、職員などの削減をはじめ様々な激変を緩和することがねらいです。合併した圏域への、将来にわたる投資という性質ではありません」

「スケールメリット(規模効果)についてはどうでしょうか。」

「国が示すように、人口規模と住民一人あたりの行政コストを比較した場合、規模を大きくすると確かに、規模効果は得ることができます。しかし、今の合併論議に必要な視点は、そのようなことではないと思われます」

「どのような考え方が大切でしょうか。」

「地域の自立に向け、柔軟で効率的な行財政運営ができる体制を築き上げることです。これは、合併をする市町村、合併をしない市町村、双方に共通した課題です」

「そもそも合併問題は、多様化する住



大学 島根県立
教授 吉塚 徹さん

※モ「普通交付税額の算定替えの特例」
合併後の普通交付税額は、通常の算定では、合併前の関係市町村の交付税額と比較すると少なくなる。そのための措置として、合併後十年間は合併関係市町村がなお存続していた場合に算定される額の合算額を保障する。

民ニーズに対応する方策である、地方分権の中から生じてきた課題です。地方分権を進めるカギは、自己決定と自己責任と言われています」

「これまで私たち地域住民は、行政サービスの受益者にすぎませんでした。しかし、多様なニーズに応じ、行政の効率的な運営をしていくには、住民も、まちを維持していく主体者として要請されているのです」

「合併論議を機会に、圏域の規模にかかわらず、今こそ住民との協働システムを作り上げないと、国などからどのような手厚い財政支援を受け

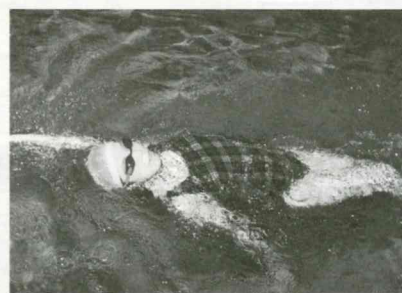
ても、まちの活性化や暮らしの質の向上にはつながらないでしょう」
※次回「今、住民に何が求められているのか」をお伝えします。

リレーエッセイ

私の趣味

16 中 垣 恵 子
(川本町本町)

「泳ぐ楽しさ、泳げる喜び」



初めての背泳。「浮かんだ！進んだ！」と大感激です

島根スイミングスクール川本の開校と同時に入学して、早三年が過ぎました。

ほとんど泳げなかった私が、今ではクロールで一三〇〇以上泳げる様になりました

た。(江の川で泳いだ世代ですが、対岸の仙岩寺眼下にあるカベ岩に一度も渡る事が出来なかったこと、悔しい思い出です)

現在は週三回、一回一三〇〇を目標に泳いでいます。その日の気分です。三日の日はありますし、三日のうち一回はクラスに入っている基本のフォームを忘れない様、レッスンを受けています。スポーツ苦手の私が『将来に渡る趣味』に出会えました。「水泳大好きです！」さあ、あなたも今日から泳いでみませんか？ 快適な施設と爽やかなコーチ陣が待っていると思いますよ。

編集後記

広報紙等に合併問題を掲載する自治体が急増中。合併論議は、まちの将来を考えるための十分な情報提供や、きめ細かな広報公聴が求められている

るといのが背景ですが、どの様に分かりやすく伝えるのか、悩んでいるのが現状です。日本広報協会が発行する月刊誌「広報」の次号特集は「合併問題に広報はどう対応するのか」。ヒントが見つかると思います。(K)